令和６年度

事 業 報 告 書

社会福祉法人　みんなでいきる

1．法人の現況

1-1　令和6年度総括

令和6年度は介護、障害分野の報酬改定の年度であったが、介護、障害福祉の報酬ともに明るい兆しに乏しい報酬改定となった。きめ細やかな加算やメリハリの利いた報酬体系に整理はされたものの、物価高や職員処遇改善への対応が十分とは言えず、他分野との格差を感じざるを得ない印象を持った。物価高への対応として、心苦しかったが食費の値上げを行い、利用者負担を求める形となった。

介護、障害分野の報酬については、質、量ともにいわばマーケットが充足し、国の報酬コントロールはますます厳密に行われている傾向が強まっている。また3年に1度の報酬改定については、物価の変動や人件費の高騰にとても追いつかないことから毎年報酬改定を行うべきとの声も高まっており、法人としてはこうしためまぐるしく変化する介護･福祉業界の動向や経営環境により敏感により素早い適応を求められることを意識しなければならない。

一方、児童分野はこれまであまり光が当たらない状況であったが、特に職員の処遇改善においてはかなり評価をされるようになり、喜ばしい反面、高齢、障害、児童部門それぞれの職員の給与について同一基準で管理をすることが難しくもなり、令和7年度に向けての大きな課題として検討の必要がある。

法人全体としては、今年度も予算を達成することができなかったことは、極めて遺憾なことである。特に高齢部門については、当初予算とかなり乖離が出る結果となり、令和7年度は法人が一丸となって収支の改善に向き合っていきたい。

他法人の施設の閉鎖や譲渡、吸収等の情報が耳に届いた一年であった。当法人においても令和6年度は約10年間運営を行ってきた短期入所及び通所介護事業所である「サンクス柿崎」の閉所に踏み切った。頸北地区における重要な在宅サービスであると自負をし、地域から愛され、必要とされた施設ではあったが、経営判断として苦渋の決断を行った。福祉の世界の経営をめぐる環境スピードの変化は更に加速する中で、こうした判断をする結果となったが、ご利用者及びご家族、関係機関の皆様、そして施設の閉所という大変な業務に向き合っていただいた職員の方々のご理解とご協力に心から感謝したい。

昨年度に引き続き厳しい数字の結果となったが、やるべきことが明確になった令和6年度でもあった。やるべき事項に照準を合わせ、社会福祉法人としての役割と責務を果たし、社会に必要とされる存在を目指して、令和7年度に挑みたい。

2．令和6年度事業方針の取組について

2-1 「部門別予算」の達成

（単位：千円）

拠点名	事業収入		達成率	事業損益		達成率
	当初予算	決算額		当初予算	決算額	
サンクス米山	562,230	563,657	100.3%	6,443	△22,332	ー
サンクス柿崎	199,992	161,818	80.9%	△10,869	△51,071	ー
サンクスレルヒの森	527,584	531,550	100.8%	30,664	1,971	6.4%
りとるらいふ	330,226	328,599	99.5%	17,400	13,356	76.8%
若竹寮	219,670	250,031	113.8%	18,148	38,184	210.4%
つちはし保育園	228,031	249,866	109.6%	25,101	28,119	112.0%
相談センター	88,620	95,238	107.5%	13,523	18,017	133.2%

【目標：介護・障害部門をフル開所し、黒字化を達成する】

回復の兆しは見えてきており、サンクスレルヒの森が施設の一部閉所を実施した時より赤字運営となっていたが、本年度３年ぶりに施設単体で黒字に転換をした。

一方、頸北地区の２施設（米山、柿崎）においては依然厳しい状況が続いており、サンクス柿崎を令和７年６月末日にて閉所する決断をし、人的資源の集中及び損失の削減を目論んでいる。

障害部門においては上期において夜勤職員の配置が厳しい状況があり一部利用者の受入れを停止し予算未達の要因となった。しかし、下期においては通常受入れを実施できており運営上においても予算を達成できていた。

児童・相談部門は顕著に推移し、法人を下支えする利益額を計上できた。

また、法人全体としての適正人員数を明確化し、各施設と共通認識化することにより人件費の抑制を目指した。上期においては退職者が出るまでの費用が発生していたが、下期については概ね見込み通りの結果となっている。

2-2 残業時間の前年比50%削減

働き易い職場を目指す為に残業時間の削減に取り組んだ。

職員の自主性に任せていた管理から、上長が適切な指導・指示を出し、やるべき事、今やらなくても良い事などのタイムマネジメントを実施することを目的として令和６年７月より残業申請管理を復活させた。

部門ごとに差はあるものの、実施前（４～６月）に比べ月平均で 861 時間（△33.5%）の削減ができた。また、残業管理を進めた結果、業務改善にもつながった事例が多く出てきた。但し、当初目標の 50%削減には届かず、前年比 22.8%の削減に留まり次年度以降も引続き削減に取り組んでいく。

残業時間比較

（単位：時間）

部門名	令和5年度	令和6年度	前年比	予算時間	予算比
サンクス米山	5,568.5	6,686.0	120.1%	2,520	265.3%
サンクス柿崎	2,048.0	1,671.5	81.6%	1,140	146.6%
サンクスレルヒの森	9,471.0	5,547.5	58.6%	3,720	149.1%
りとるらいふ	4,898.5	2,352.5	48.0%	2,160	108.9%
若竹寮	4,881.5	5,392.0	110.5%	2,700	199.7%
つちはし保育園	1,988.0	855.5	43.0%	1,440	59.4%
相談センター	1,043.5	567.5	54.4%	600	94.6%
本部	25.0	25.0	100.0%	0	
計	29,924.0	23,097.5	77.2%	14,280	161.7%

2-3 社会福祉法人としての公益性に根差した事業活動の継続

(1)「若竹みらい創造基金」の普及促進

上越市の協力により、広報じょうえつ・広報Ｊステーションにて周知を実施した。また、寄付金を受領する際にメディアより取材に入ってもらうことによる周知も実施した。

■ 寄付受領額　　２０人(４６件)　　2,890,528円（団体含む）

■ 基金給付額　　６人　　845,000円

(一時給付金　　257,000円)

(家賃給付金　　588,000円)

2-4 高齢福祉事業及び障害･児童福祉事業の更なる融合

【事業部間職員異動実績】

→ 令和 1 年度異動者　　２人

令和 2 年度異動者　　９人

令和 3 年度異動者　　３人

令和 4 年度異動者　　５人

令和 5 年度異動者　　１人

令和 6 年度異動者　　４人

異　動　前	異　動　後	人数	摘　要
若竹寮	りとるらいふ	１人	定期人事異動
サンクス米山	りとるらいふ	１人	

サンクス米山	相談センター	2人	
相談センター	サンクス米山	1人	

2-5 優秀な人材確保及び離職防止に向けた採用研修への取り組み。

① 令和６年度入職新卒職員採用者数

最終学歴	採用数	配属部署	
大学卒	3人	高齢福祉事業	4人
短大専門卒	3人	障害福祉事業	0人
高卒	人	児童福祉事業	2人
計	6人		

※ 上記採用者数の内訳(重複あり)

①県外大・短大卒数（ 1人） ②上越市外出身者数（ 0人）

③福祉系大卒 （ 2人） ④福祉系短大専門卒（ 3人）

⑤障害雇用 （ 0人）

② 新卒入職職員等へのフォローアップ研修の実施

目的：１年目の目標の明確化及びフォロー実施することによる離職防止

日程：３回開催（５，１０，２月）

【研修内容】

- なりたい私になる
- 感情労働とセルフケア
- 連携のポイント
- 合意形成の考え方（自分も相手も活かせる伝え方）
- チームで働くという事
- 管理職になる時に知っておきたい労務管理

③ 法人内職員研修体系の整備

2～5年目までの新卒者研修及び主任係長研修を実施し、内容として勤務年数に応じた必要とされる知識、技術を得る目的とし、講師は原則法人職員がおこなった。

ⅰ 2年目研修（年3回） 感情労働とセルフケア・トラブル対応等

ⅱ 3年目研修（年2回） 連携のポイント

ⅲ 4年目研修（年2回） 合意形成

ⅳ 5年目研修（年2回） 伝える力

ⅵ 係長、主任研修（年1回） 基本的な労働管理の知識

3. 法人の概要

3-1 事業所の概要

事業部	事業所名	サービス名	定 員	管理者	開設年月
高齢福祉事業 「サンクス」	介護老人保健施設 サンクス米山	①介護老人保健施設 ②通所リハビリテーション ③訪問リハビリテーション	100 名 30 名	竹山　茂	H15.9
	サンクス柿崎	①短期入所生活介護 ②通所介護	40 名 25 名	太田　靖	H25.4
	特別養護老人ホーム サンクスレルヒの森	①介護老人福祉施設	100 名	塚田　光知子	H27.6
障害福祉事業 「りとるらいふ」	りとるの家	①生活介護「きら」	20 名	久保　久美子	H22.4
	りとるの家はなれ	①放課後等デイサービス「ららん」	10 名	久保　久美子	H24.5
		②短期入所「ぷあん」	8 名	片田　竜一	
	とも	①生活介護「とも」	20 名	久保　久美子	H30.4
	にこ	①放課後等デイサービス「にこ」	10 名	久保　久美子	H27.6
	ぱれっと	①放課後等デイサービス「もーと」	10 名	久保　久美子	H31.4
		②グループホーム「ふぁみりあ」	12 名	片田　竜一	H31.4
		③生活サポートホーム「ぱれっと」	6 室	片田　竜一	H31.4
	しゃぼん玉クラブ	①高田西小学校放課後児童クラブ	75 名	片桐　公彦	
児童福祉事業	児童養護施設 若竹寮	①児童養護施設	56 名	片桐　友紀	H29.4
	つちはし保育園	①保育所	200 名	山本　浩昭	R4.4
地域生活支援事業	みんなでいきる 相談センター	①地域包括支援センター ②居宅介護支援 ③特定計画相談支援 ④障害児相談支援 ⑤上越市生活困窮者支援事業 ⑥上越市子どもほっとライン事業		江部　健幸	H30.4

3-2 施設職員数の推移　㊦正職員　㊄契約職員・パート・アルバイト

拠点名＼年度		令和4年度末	令和5年度末	令和6年度末	増　減
サンクス米山	正	67人	77人	70人	△7人
	他	31人	36人	31人	△5人
	計	98人	113人	101人	△12人
サンクス柿崎	正	28人	28人	23人	△5人
	他	15人	15人	16人	+1人
	計	43人	43人	39人	△4人
サンクスレルヒの森	正	48人	48人	53人	+5人
	他	48人	64人	54人	△10人
	計	96人	112人	107人	△5人
りとるらいふ	正	48人	52人	50人	△2人
	他	28人	31人	26人	△5人
	計	76人	83人	76人	△7人
若竹寮	正	35人	33人	32人	△1人
	他	5人	15人	14人	△1人
	計	40人	48人	46人	△2人
つちはし保育園	正	45人	49人	46人	△3人
	他	9人	8人	10人	+2人
	計	54人	57人	56人	△1人
相談センター	正	15人	13人	15人	+2人
	他	0人	0人	2人	+2人
	計	15人	13人	17人	+4人
法人本部	正	6人	6人	7人	+1人
	他	1人	2人	1人	△1人
		7人	8人	8人	+0人
総　計		429人	477人	450人	△27人

常勤数	292人	306人	296人
非常勤数	137人	171人	154人
常勤割合	68%	64%	66%

3-3 財産債務及び損益の状況の推移

(1) 財産債務の推移

(単位：千円)

事業年度 / 項目	令和4年度 R5.3.31現在	令和5年度 R6.3.31現在	令和6年度 R7.3.31現在	増減
流動資産	506,860	429,462	458,751	29,289
固定資産	2,521,533	2,414,804	2,314,547	△100,257
基本財産	2,320,441	2,217,292	2,110,434	△106,858
その他の固定資産	202,093	197,512	204,112	6,600
資産の部 計	3,028,393	2,844,266	2,773,298	△70,968
流動負債	359,390	443,569	414,621	△28,948
固定負債	2,198,198	2,143,192	2,195,733	52,541
負債の部 計	2,557,588	2,586,761	2,610,354	23,593
純資産の部 計	470,805	257,504	162,943	△94,561

(2) 損益の推移

(単位：千円)

事業年度 / 項目	令和4年度	令和5年度	令和5年度	増減
サービス活動収益	1,848,684	1,997,321	2,205,644	208,323
人件費	1,404,682	1,471,617	1,507,355	35,738
事業費	287,350	291,015	302,010	10,995
事務費	282,204	285,390	311,896	26,506
減価償却費	124,486	106,457	105,769	△ 688
その他	7,503	8,601	9,535	934
サービス活動費用	2,106,225	2,163,080	2,236,565	73,485
サービス活動増減差額	△ 257,541	△ 165,759	△ 30,921	134,838
サービス活動外収益	14,911	15,224	8,728	△ 6,496
サービス活動外費用	21,519	28,677	29,686	1,009
経常活動増減差額	△ 264,149	△ 179,212	△ 51,879	127,333

3-4 会議の開催状況

(1) 理事会（定数 7 人）

回 数	開 催 年 月 日	出 席 理事数
第 1 回	令和 6 年 5 月 31 日	4 人
第 2 回	令和 6 年 7 月 10 日	5 人
第 3 回	令和 6 年 11 月 29 日	5 人
第 4 回	令和 7 年 3 月 28 日	6 人

(2)評議員会（定数 8 人）

回 数	開 催 年 月 日	出 席 評議員数
第 1 回	令和 6 年 6 月 15 日	5 人

3-5 監査の状況

(1) 法人監事による監査

① 実施日時：令和７年５月１６日

② 場　　所：法人本部

③ 監査項目：会議開催状況、決算、資産・負債残高照合

④ 監査所見：特になし